

リモート2CHマスフローコントローラ制御装置

占有局数：1局

リモート入出力「32点固定」

リモート->マスタ		マスタ->リモート	
デバイスNo.	信号名称	デバイスNo.	信号名称
RXn0	CH1 アラーム状態フラグ	RYn0	CH1 制御/強制モード要求フラグ
RXn1	CH2 アラーム状態フラグ	RYn1	CH1 強制全開/強制全閉要求フラグ
RXn2	未使用	RYn2	CH2 制御/強制モード要求フラグ
RXn3	未使用	RYn3	CH2 強制全開/強制全閉要求フラグ
RXn4	未使用	RYn4	CH1 0~5V/0~10V切換フラグ
RXn5	未使用	RYn5	CH2 0~5V/0~10V切換フラグ
RXn6	未使用	RYn6	未使用
RXn7	未使用	RYn7	未使用
RXn8	CH1 A/D変換完了フラグ	RYn8	CH1 D/A出力許可信号フラグ
RXn9	CH2 A/D変換完了フラグ	RYn9	CH2 D/A出力許可信号フラグ
RXnA	未使用	RYnA	未使用
RXnB	未使用	RYnB	未使用
RXnC	未使用	RYnC	未使用
RXnD	未使用	RYnD	未使用
RXnE	未使用	RYnE	未使用
RXnF	未使用	RYnF	未使用
RX(n+1)0	予約	RY(n+1)0	予約
RX(n+1)1	予約	RY(n+1)1	予約
RX(n+1)2	予約	RY(n+1)2	予約
RX(n+1)3	予約	RY(n+1)3	予約
RX(n+1)4	予約	RY(n+1)4	予約
RX(n+1)5	予約	RY(n+1)5	予約
RX(n+1)6	予約	RY(n+1)6	予約
RX(n+1)7	予約	RY(n+1)7	予約
RX(n+1)8	イニシャルデータ処理要求フラグ	RY(n+1)8	イニシャルデータ処理完了フラグ
RX(n+1)9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RY(n+1)9	イニシャルデータ設定要求フラグ
RX(n+1)A	エラー状態フラグ	RY(n+1)A	エラーリセット要求フラグ
RX(n+1)B	リモートREADY	RY(n+1)B	未使用
RX(n+1)C	予約	RY(n+1)C	予約
RX(n+1)D	予約	RY(n+1)D	予約
RX(n+1)E	(予約:OnA)	RY(n+1)E	(予約:OnA)
RX(n+1)F	(予約:OnA)	RY(n+1)F	(予約:OnA)

n：局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

入出力信号詳細

デバイスNo.	信号名称	内容
RXn0 ~ 1	MFCユニット状態フラグ	MFCユニットの動作状態をモニタする。(ALARMのみ)
RXn8 ~ 9	A/D変換完了フラグ	電源投入後、またはリセット後、各チャンネルのA/D変換が完了したときにONする。A/D変換完了フラグは、A/D変換許可・禁止設定を変更したときのみ1回処理する。 ・A/D変換禁止->許可にしたとき。 該当するCHのA/D変換完了フラグをONする。 ・A/D変換許可->禁止にしたとき。 該当するCHのA/D変換完了フラグをOFFする。
RX(n+1)8	イニシャルデータ処理要求フラグ	電源投入後、ハードウェアリセット後、機器がイニシャルデータの設定を要求するために、イニシャルデータ処理要求フラグをONする。また、イニシャルデータ処理完了(イニシャル処理完了フラグRY(n+1)8 ON)後OFFする。
RX(n+1)9	イニシャルデータ設定完了フラグ	イニシャルデータ設定要求(RY(n+1)9 ON)があった場合、イニシャルデータ設定完了後ONする。また、イニシャルデータ設定完了時、イニシャルデータ設定要求フラグがOFFすると、イニシャルデータ完了フラグもOFFする。
RX(n+1)A	エラー状態フラグ	機器が、ウォッチドグタイマエラー以外のエラー発生時に、ONする。
RX(n+1)B	リモートREADY	電源投入後、ハードウェアリセット後、またはテストモード操作後、イニシャルデータ設定を完了し、A/D変換許可した全CHの変換が完了したときにONする。全チャンネルA/D変換禁止と、D/A出力禁止にした場合は、ONしない。マスタユニットからの読み出し/書き込みのインタロックとして使用する。
RYn0 ~ 3	MFCユニット設定フラグ	MFCユニットの制御信号を設定する。 バルブの全開/全閉/制御コントロールの設定 RYn0,2=ON:強制モード,OFF:制御モード RYn1,3=ON:強制全開,OFF:強制全閉 注)内部のJP2,3,4にて各制御時の出力電圧を設定して使用します。
RYn4,5	A/D, D/Aゲイン設定フラグ	MFCユニットのアナログ入出力信号のゲインを設定する。各CHごとにA/DとD/Aを対で0~5V, 0~10Vの設定します。ON:10VFS,OFF:5VFS
RYn8 ~ 9	D/A出力許可信号フラグ	D/A出力許可信号で、ONさせると、D/A出力が許可状態となります。D/A出力を禁止したい場合OFFにします。
RY(n+1)8	イニシャルデータ処理完了フラグ	電源投入後、ハードウェアリセット後、またはテストモード操作後の、イニシャルデータ処理要求時、イニシャルデータ処理完了後フラグをONする。
RY(n+1)9	イニシャルデータ設定要求フラグ	イニシャルデータ設定時、または変更時に、ONする。(I/O, D/A, A/Dには、一切干渉しない。)
RY(n+1)A	エラーリセット要求フラグ	エラーリセット要求フラグをONすると、エラー状態フラグ(RX(n+1)A)がOFFするとともに、リモートレジスタのエラーコード(RW rn+4)をクリア(0000h)する。現在は、固定。

n：局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

リモートレジスタ

マスタ -> リモート			リモート -> マスタ		
アドレス	内容	デフォルト	アドレス	内容	デフォルト
RWwm	CH1 D/A値設定	0	RWm	エラーコード	0
RWwm+1	CH2 D/A値設定	0	RWm+1	CH1 A/D値データ	0
RWwm+2	D/A変換許可、禁止指定	0	RWm+2	CH2 A/D値データ	0
RWwm+3	A/D変換許可、禁止指定	0	RWm+3	未使用	-

m,n : 局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

リモートレジスタ信号詳細

アドレス	信号名称	内容				
RWwm RWwm+1	D/A値設定	<ul style="list-style-type: none"> シーケンサCPUからのD/A変換を行うためのデジタル値を書き込む。 下記の場合は、デジタル値が"0"となる。 電源投入後、リモートREADYがONしたとき。 シーケンサCPUリセット後、リモートREADYがONしたとき。 設定できるデジタル値は、16ビットのバイナリ値で、デジタル分解能の設定可能範囲とする。 0 ~ 4095 (12 Bit) b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00 - - - - - 無視 データ部12ビット				
RWwm+2	D/A変換許可、禁止指定	D/A出力値の外部への出力許可/禁止を設定する。 b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00 - - - - - - - - - - - - - - - - 無視 CH 2 1 0:許可 1:禁止				
RWwm+3	A/D変換許可、禁止指定	各CHのA/D変換許可/禁止を設定する。 b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00 - - - - - - - - - - - - - - - - 無視 CH 2 1 1:許可 0:禁止				
RWm	エラーコード	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生したときに、エラーコードを格納する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>エラーコード</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0000H</td> <td>エラーが発生しないため固定。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 一度格納されたエラーコードは、設定値が設定可能範囲になってもリセットされない。 エラーコードのリセットには、RY(n+1)AをONさせる。 	エラーコード	内容	0000H	エラーが発生しないため固定。
エラーコード	内容					
0000H	エラーが発生しないため固定。					
RWm+1 ~ RWm+2	A/D値データ	<ul style="list-style-type: none"> A/D変換されたデジタル値は、12ビットのバイナリ値で、表す。 b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00 - - - - - 無視 データ部12ビット				

m,n : 局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

Ver2.1 RYn4,5 ゲイン設定フラグ追加 '00/12/23H.MIURA
 Ver2.2 RYn0 ~ 3 信号名称変更 '01/06/21 H.MIURA